令和6年第9回広島市農業委員会総会議事録

1. 日 時 令和6年9月5日(木) 開会 午後1時30分
閉会 午後2時40分

2. 場 所 東区役所3階 第4・5会議室

3. 委員定数 19名

4. 出席委員 18名

1	福島 幸治	2	鍛冶山 正照(欠席)	3	己斐 潔
4	山本 香織	5	溝口 憲幸	6	上垣内 保之
7	浅元 恒夫	8	岩重 隆弘	9	下谷 邦代
10	佐藤 和夫	11	高畠 辰也	12	沼田 聖
13	谷口 憲	14	船木 良江	15	河野 芳徳
16	山縣 由明	17	吉田 米治	18	奥田 一成
19	児玉 一成				

5. 欠席委員

2番 鍛冶山 正照

6. 議事録署名者

5番 溝口 憲幸 6番 上垣内 保之

7. 職務のため出席した事務局職員

事務局長 梶川 修 事務局次長 小路 和典
主幹(事)主任 平木 周二 主 査 山根 賢志
主任技師 小林 孝次

8. 総会議事日程

・農地に係る審議事項

- (1) 農地法第3条の規定による許可申請について
- (2) 農地法第4条の規定による許可申請について
- (3) 農地法第5条の規定による許可申請について

- (4) 相続税の納税猶予に関する適格者証明申請について
- (5) 農地法第2条第1項に規定する農地に該当しないこと（非農地）の判断について

・農地に係る報告事項

- (1) 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出の専決処理について
- (2) 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出の専決処理について
- (3) 非農地証明申請の専決処理について
- (4) 農地法第3条の3第1項の規定による農地等の権利取得届出の専決処理について
- (5) 農地転用許可取消の専決処理について
- (6) 農地転用届出撤回の専決処理について

・農政に係る審議事項

- (1) 令和7年度広島市農政に関する意見書（案）について

・その他

- (1) 広島市農業委員会農地利用最適化推進委員の委嘱の承認について
- (2) 家族経営協定調印式について（報告）
- (3) 令和7年度農業担い手育成研修生の募集について
- (4) 令和6年度第3回地区協議会の日程等について
- (5) 令和6年9月の現地調査日程について
- (6) 農業委員会の概要（令和6年）について
- (7) みどりの募金（ピンバッジ）

議 事

議 長（福島会長）

それでは、令和6年第9回広島市農業委員会総会を開会します。

本日の欠席者は、2番、鍛冶山委員です。出席者が過半数に達しており総会は成立します。

まず、議事録署名者を指名します。5番、溝口委員、6番、上垣内委員よろしくをお願いします。

それでは、審議に入ります。

議案第1号、農地法第3条の規定による許可申請について、13件を上程します。事務局から説明をお願いします。

事務局（山根主査）

議案第1号、耕作目的の農地の売買等に関する農地法第3条の許可申請の13件について説明します。議案の3ページ、4ページをご覧ください。

1番、3番、4番、6番は、経営規模拡大のため申請地を取得するものです。

2番、9番、12番は、新規就農するために取得するもので、それぞれサクランボ、トマト、ナスなどを栽培する旨の営農計画書が提出されています。

5番、7番、8番、13番は、申請地の隣接地を耕作及び所有しており便利なため申請地を取得するものです。

10番は、付け替えにより公用廃止された里道を取得するものです。

11番は、生前贈与のため所有権を移転するものです。

申請地は、農地法第3条第2項に規定する不許可の要件のいずれにも該当しないものと思われます。これらの案件は、総会で承認されますと、農業委員会の会長名で許可することとなります。以上で議案第1号の13件の説明を終わります。

議 長

議案第1号について、担当委員の意見を伺います。

1番は、私の担当ですので、報告します。8月19日に溝口委員と事務局職員2名で現地の調査を行いました。適正に管理されており、問題ないと思います。

2番、3番、浅元委員。

浅元委員

7番、浅元です。2番、3番は8月20日に上垣内委員、事務局職員2名と現地調査を行いました。2番は、譲渡人が高齢及び自宅が遠方のため耕作困難

となり、譲受人は、以前から果樹を栽培したいと考えていました。購入後は、新規就農しサクランボやカキなどを栽培する予定です。申請地は、保全管理されており、特に問題はないと思います。

3番は、譲渡人は高齢で耕作困難となり、譲受人は近隣でパンの製造販売、小麦等の栽培を行っており、以前から規模拡大してブルーベリー等を栽培したいと考えていたもので、購入することとなりました。申請地は保全管理されており、特に問題はないと思います。

議 長

4番、5番、岩重委員。

岩重委員

8番、岩重です。4番、5番は、8月19日に事務局職員2名と己斐委員と現地確認を行いました。きれいに管理され、耕作が出来るということを確認しました。4番は、譲受人の経営規模拡大、5番は、譲受人が隣接する農地を耕作していて便利なため、いずれの申請地もきれいに管理され、耕作ができることを確認しています。問題ないと思います。

議 長

6番、己斐委員。

己斐委員

3番の己斐です。6番は、8月19日木曜日に、岩重委員、事務局職員2名と現地の調査を行いました。申請地は、水稻の作付けがされていました。譲渡人は、高齢で後継者がおらず、譲受人は、経営規模拡大のため、取得するものです。問題はありません。

議 長

7番、8番、佐藤委員。

佐藤委員

10番、佐藤です。7番、8番は8月19日に、下谷委員、事務局の方と現地確認しました。7番、8番は利便性向上のため、お互いが所有する申請地を交換するものです。問題ないと思います。

議 長

9番、10番、河野委員。

河野委員

15番、河野です。9番、10番は、8月16日に山縣委員と事務局職員2名で現地調査を行いました。

9番は、譲受人が新規就農するもので、申請地は野菜がたくさん植えてあり問題はないと思います。

10番は、先ほど説明がありましたように、譲受人が耕作する農地の間に里道であった申請地があり、その里道が付け替えにより公用廃止され、譲受人が取得するもので、問題ないと思います。

議 長

11番、山縣委員。

山縣委員

16番、山縣です。11番について説明します。8月16日に河野委員、事務局職員2名は現地調査されましたが、私は当日都合が悪く、翌日の8月17日に現地調査をしました。申請地は、農地として管理されており、親から子への贈与であり、問題はなく、許可相当と思います。

議 長

12番、13番、吉田委員。

吉田委員

17番、吉田です。12番、13番は、先月の8月20日に児玉委員及び事務局職員2名で行いました。

2番は、耕作放棄された休耕となっている申請地で、自給生活を目指すもので、申請地の近隣者に指導を受けながら野菜を栽培するものです。異論ありません。

13番は、申請地の隣接地を耕作している譲受人が、経営規模拡大のため譲り受けるものです。異論ありません。

議 長

それでは、その他、ご意見等ございますか。

(委員：意見なし)

議 長

意見がないようですが、許可相当と認めることに異議はございませんか。

(委員：異議なし)

議 長

異議がないので、13件を許可することに決定いたします。

続きまして、議案第2号、農地法第4条の規定による許可申請について4件を上程します。それでは、事務局に説明をお願いします。

事務局（山根主査）

議案第2号、所有者自らによる転用に関する農地法第4条の許可申請の4件について説明します。

議案の5ページをご覧ください。1番から3番は、雑種地への転用事案で、申請地を貸し駐車場又は来客用駐車場として使用するものです。

1番、2番の申請地は既に転用目的の用に供されているため、広島市農業委員会の違反転用に係る事務処理要領に基づき追認許可しようとするもので、申請書には始末書を添付させています。

2番、3番は農振農用地区域でしたが、農業振興地域の整備に関する法律に基づく第12条公告が令和6年8月30日付けでされており、議案では手続き中としていましたが、農用地区域から除外されたことを確認しています。

4番は、農地改良を目的とした一時転用事案です。8枚の田を2枚にまちだおしすることで耕作の利便性を向上させるものです。申請者の住所は南区となっていますが、居所は申請地付近と申立てがあり、今年度の営農もされています。

一時転用期間は許可後から令和8年3月31日までとなっています。本案件は、農振法第8条第2項第1号に規定する農用地区域内の農地であり、その許可方針は原則として許可しないとなっていますが、審査基準、第2立地基準の1(2)ウ(ア)により「仮設工作物の設置その他の一時的な利用に供するために行うものであって、当該利用の目的を達成する上で当該農地を供することが必要であると認められる」に該当し、不許可の例外に該当するものと思われま

す。申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の農地で、第2種農地であり、転用許可できない区域に立地する農地ではなく、また、転用の確実性があり、被害防除措置も妥当と認められることから、農地法第4条第6項に規定する不許可の要件のいずれにも該当しないものと思われま

す。本案件は、本総会で承認されますと、農業委員会の会長名で許可することとなります。以上で議案第2号の説明を終わります。

議 長

議案第2号について、担当委員の意見を伺います。1番、上垣内委員。

上垣内委員

6番の上垣内です。1番は、8月20日に事務局職員2名と現地を確認しました。申請地は既に駐車場として利用されており、登記地目を雑種地に変更するもので、周囲には影響はなく、問題ありません。

議 長

2番、浅元委員。

浅元委員

7番、浅元です。2番は、8月20日に上垣内委員、事務局職員2名と現地調査を行いました。

2番の申請地は、申請地の隣接地でパンの製造販売店を開業した申請者が、駐車場が必要となり、近隣に適地がないことから、所定の手続きをせずに、勝手に自分で駐車場を整備し利用しているものです。申請者は事務手続きの不備を大いに反省し始末書を付けて、申請書を提出したものです。既に駐車場になっており、周辺の農地等への影響はなく、問題はないと思います。

議 長

3番、岩重委員。

岩重委員

8番、岩重です。3番は、令和6年3月19日に事務局職員2名と農振除外申請の時に現地を確認しました。今回の4条許可申請にあたり、8月19日に私だけで、再度、現地の確認をしました。周辺農地には影響がないと思われまますので、この申請は問題ありません。

議 長

4番、谷口委員。

谷口委員

13番、谷口です。4番は、8月19日に事務局職員2名とで現地調査をしています。公簿は1, 278㎡の面積ですが、申請地は狭小な8枚の田に分かれており、それを2枚に整備し利便性を高めるものです。申請地は水稻が作付けされていました。改良工事に伴う、残土の排出等はなく、問題ありません。

議 長

それでは、その他、ご意見等ございますか。

(委員：意見なし)

議 長

意見がないようですが、許可相当と認めることに異議はございませんか。

(委員：異議なし)

議 長

異議がないので、4件を許可することに決定いたします。

続きまして、議案第3号、農地法第5条の規定による許可申請について、21件を上程します。それでは、事務局に説明をお願いします。

事務局（山根主査）

議案第3号、転用を目的とする農地の売買等に関する農地法第5条の規定による許可申請の21件について説明いたします。議案の6ページから10ページをご覧ください。

1番は、雑種地への転用事案で、造園業を営む譲受人が申請地を譲り受け、資材置場、駐車場として利用しようとするものです。

2番から5番、7番、20番は、雑種地への転用事案で、申請地を譲り受け、太陽光発電設備を設置しようとするものです。

6番は、宅地への転用事案で、申請地を譲り受け、住宅を建築しようとするものです。

8番から18番は、雑種地への一時転用事案で、申請地をダムの改修工事に伴う工事用道路の拡幅、資材置場として利用しようとするものです。一時転用期間は許可後から令和9年9月29日となっています。

19番は、雑種地への転用事案で、申請地を譲り受け、キャンプ場、多目的広場、駐車場及び進入路として利用しようとするものです。

21番は、雑種地への転用事案で、申請地を借り受け、駐車場として利用しようとするものです。

2番、4番から7番、19番及び20番は農振農用地区域でしたが、令和6年8月30日付けで農業振興地域の整備に関する法律に基づく第12条公告を受け、農用地区域から除外されたことを確認しています。

1番から8番、17番、19番から21番は、農業公共投資の対象となっていない小集団の農地で、第2種農地であり、転用許可できない区域に立地する農地ではなく、また、転用の確実性があり、被害防除措置も妥当と認められることから、農地法5条第2項の不許可の要件のいずれにも該当しないものと思われま

また、9番から16番及び18番は、農振法第8条第2項第1号に規定する農用地区域内の農地であり、その許可方針は原則として許可しないとなっておりますが、審査基準、第2立地基準の1(2)ウ(ア)により「仮設工作物の設置その他の一時的な利用に供するために行うものであって、当該利用の目的を達成する上で当該農地を供することが必要であると認められる」に該当し、不許可の例外に該当するものと思われま

す。なお、1番は、申請地が既に転用目的の用に供されているため、広島市農業委員会の違反転用に係る事務処理要領に基づき、追認許可しようとするもので、申請書には始末書を添付させています。

本案件は、本総会で承認されますと、農業委員会の会長名で許可することとなります。以上で議案第3号の説明を終わります。

議 長

議案第3号について、担当委員の意見を伺います。

1番、上垣内委員。

上垣内委員

6番、上垣内です。8月20日に事務局職員2名と現地を確認しました。申請地は既に駐車場及び資材置場として利用されています。周辺農地への影響はなく、問題はないと判断します。

議 長

2番から5番、岩重委員。

岩重委員

8番、岩重です。2番から5番について説明します。

2番、4番、5番については、令和6年3月19日に農振除外申請で、事務局職員と現地の確認をしました。3番については、令和6年8月19日に事務局職員2名と現地を確認しています。

申請地は、大型農機の進入が困難な狭小農地で、現在は管理されていますが、今後、管理が困難になるので、太陽光発電施設の用地とし、所有権移転するものです。周辺農地への影響もなく、問題ないと思います。

議 長

6番、7番、己斐委員。

己斐委員

3番、己斐です。6番、7番の現地調査は農振除外の案件として、令和6年3月19日に事務局職員2名と行っています。

6番は、現在の譲受人の住まいが手狭になったため、一番近い当該申請地に住宅を建築し、居住するものです。周辺農地への影響はなく、問題ありません。

7番は、譲受人である法人が太陽光発電施設用地として取得するものです。申請地は、休耕中で、太陽光発電施設用地にすることによる周辺農地への影響はなく、問題ありません。

議 長

8番から18番、船木委員。

船木委員

14番、船木です。8番から18番については、8月19日に事務局職員2名と現地調査を行いました。これは、ダム改修工事に伴う、工事用車両通行のための道路拡幅及び資材置場として利用する一時転用です。申請地は耕作されておらず、休耕となっていました。問題はありません。

議 長

19番、山縣委員。

山縣委員

16番、山縣です。19番は、農振除外のため、本年3月18日に事務局職員2名と現地調査を行っております。また、8月17日に私だけで再度、現地調査しました。申請地は、譲渡人は、遠方に居住しており耕作困難であり、譲受人はキャンプ場、多目的広場の駐車場、進入路として利用するため所有権移転するものです。現況は以前調査した時と変わりなく、周辺にも影響はなく、問題ないと思います。

議 長

20番、吉田委員。

吉田委員

17番、吉田です。20番は、本年3月21日に農振除外で事務局職員2名と現地調査を行っています。申請地の周辺は、休耕地も点在しており、太陽光発電施設の設置による周辺農地への影響はなく、異論はありません。

議 長

21番、児玉委員。

児玉委員

19番、児玉です。19番は、8月20日に事務局職員2名と現地を確認しました。申請地の周りには田畑もなく、譲受人が賃借し駐車場にするもので、問題ないと思います。

議 長

それでは、その他のご意見等ございますか。

(委員：意見なし)

議 長

意見がないようですが、許可相当と認めることに異議はございませんか。

(委員：異議なし)

議 長

異議がないので、21件の案件を許可することに決定いたします。

続きまして、議案第4号、相続税の納税猶予に関する適格者証明申請について、1件を上程します。それでは、事務局に説明をお願いします。

事務局（山根主査）

議案第4号、相続税の納税猶予に関する適格者証明申請について説明します。

この相続税の納税猶予の特例については、相続人が、農業を営んでいた被相続人から農地等を相続し、農業を原則20年以上継続する場合に限り、農地価格のうち農業投資価格を超える部分に対する相続税の納税を猶予する制度です。農業委員会としましては、①被相続人が農業を営んでいたか、②相続人が引き続き農業経営を行うと認められるか、③申請農地等は、農業を営んでいた被相続人から相続した農地等で、適正に管理が行われているかなどを審査し、適格者証明書を交付するものです。

それでは、議案の11ページをご覧ください。今回、1件の申請があり、その内容につきましては議案に記載しているとおりです。この申請につきましては、先ほど申し上げました①から③の要件を満たしていることを確認しており、租税特別措置法第70条の6第1項の規定を受ける農地に該当します。以上で議案第4号の説明を終わります。

議 長

議案第4号について、事務局の説明が終わりましたので、担当委員のご意見をお伺いします。

1番、山本委員。

山本委員

4番、山本です。8月16日に事務局職員の方と現地を確認しました。現地は相続人の方が、野菜及びイチジク、ブルーベリー等の果樹を栽培されていました。問題ないと思います。

議 長

それでは、その他、ご意見等ございますか。

(委員：意見なし)

議 長

意見がないようですが、適格者として証明することに異議はございますか。

(委員：異議なし)

議 長

異議がないので、適格者として証明することに決定します。続きまして、議案第5号、農地法第2条第1項に規定する農地に該当しないこと、非農地の判断について、5件を上程します。事務局から説明をお願いします。

事務局（山根主査）

議案第5号、農地法第2条第1項に規定する農地に該当しないこと、非農地の判断について説明いたします。農地の利用状況調査の結果、農地法第2条第1項に規定する農地に該当しないと認められる土地について、非農地の判断をすることとされており、その判断基準は、農業的利用を図るための基盤整備事業等が計画されていない土地のうち、森林の様相を呈しているなど、農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難な場合、又は、周囲の状況からみて、その土地を農地として復元しても継続利用できないと見込まれる場合のいずれかに該当するものと定められています。

議案の12ページをご覧ください。今回、1番、2番で上程している合計5筆の土地は、担当の農地利用最適化推進委員及び農業委員の調査で、現況が雑木の山林もしくは、雑木、竹等の原野であり、農地に該当しないと判断される土地です。以上で議案第5号の説明を終わります。

議 長

議案第5号について、事務局の説明が終わりましたので、担当委員のご意見を伺います。

1番、2番、高島委員。

高島委員

11番、高島です。1番、2番について報告します。8月7日に下土井推進委員と現地調査を行いました。その結果、山林、原野であったことを確認しました。

議 長

それでは、その他、ご意見、ご質疑がございますか。

(委員：意見なし)

議 長

意見がないようですが、非農地、つまり農地に該当しないと判断することについて、異議はございますか。

(委員：異議なし)

議 長

異議がないので、議案第5号の5件を非農地の判断をすることについて決定いたします。

以上で農地に係る審議事項を終了します。

続いて農地に係る報告事項に入ります。報告第1号から第6号の専決処理について、95件を一括して報告します。事務局から説明をお願いします。

事務局（山根主査）

報告第1号から第6号までの専決処理について、説明します。

報告第1号、農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出、15ページから16ページの12件及び報告第2号、農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出、17ページから26ページの56件は、広島市農業委員会事務局規程第7条第2項の規定により、事務局次長が専決処理をいたしました。報告第3号、非農地証明申請27ページから28ページの8件は、担当委員と現地調査を行い、広島市農業委員会事務局規程第7条第3項の規定により、事務局次長が専決処理をいたしました。

報告第4号、農地法第3条の3第1項の規定による農地等の権利取得届出29ページ、30ページの10件は、広島市農業委員会事務局規程第7条第5項の規定により、事務局次長が専決処理をしました。

報告第5号、農地転用許可取消の専決処理、31ページの1件及び報告第6号、農地転用届出撤回の専決処理、32ページ、33ページの8件は、広島市農業委員会事務局規程第8条の規定により、事務局次長が専決処理をしました。

以上で報告第1号から第6号までの説明を終わります。

議 長

事務局から説明のあった報告第1号から第6号について、何か質問がございますか。

佐藤委員

一つだけ確認したいのですが、報告第2号の5番の案件で、登記面積が29㎡で、実測が550㎡となっていますが、〇〇地区でもこんなことがあるのですか。

事務局（平木主幹）

記載に誤りはなく、議案のとおりです。

議 長

よろしいですか。他にありませんか。

（委員：質問なし）

議 長

質問がないようですので、報告事項を終了します。

続きまして、議事日程5の農政に係る審議事項の議題に入ります。はじめに、議案第6号、令和7年度広島市農政に関する意見書案について事務局に説明をお願いします。

事務局（小林主任技師）

令和7年度広島市農政に関する意見書について説明します。

これまで、皆様からいただいた貴重なご意見と前回までの総会、そして意見書検討班での協議結果を踏まえ、事務局で検討を行いました。その結果、既存の取組等で対応可能としたものについては、今回挙げておりませんのでご了承

ください。ついては、意見項目を事務局で3項目として整理しています。本日、その他追加でご意見などありましたらお願いします。

それでは、資料1、1ページをご覧ください。前文では、食料安全保障のあり方から始まり、本市の近況と課題、そして意見事項について、まとめています。

1番目の意見事項は担い手の支援についてです。本市の農業の多様な担い手を引き続き育成するとともに、こうした担い手に対し、生産性の向上、農作業の省力化や負担の軽減に向けたスマート農業の導入促進等、営農を継続させるために必要な支援を行うことを掲げています。内容は、市は、ひろしま活力農業経営者育成事業等により、若い優秀な認定農業者等を育成するとともに、半農半Xなどの多様な就農ニーズに対応した研修を実施し、農業の多様な担い手を育成している。また、令和6年度から活力農業者のリース料低減化支援や、活力農業者が市場価格の変動の影響を受けることなく、安定した販路を確保・拡大するためのモデル事業を展開する等、食料を安定的に供給できるよう営農を継続させるための仕組みづくりに尽力しており、その効果に期待しているところである。一方で、農業の現場では依然として人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、高齢化が進む農業の現場で多様な農業の担い手が営農を継続するためには、スマート農業の活用を進め、本市の農業者の実情に応じたスマート農業の導入・利用促進を図っていく必要があるとしています。

2番目の意見事項は農地の利活用についてです。地域の農地の適切な利用を推進するため、活用すべき農地の利活用の取組に対する支援を行うことを掲げています。内容は、農地は食料生産の場にとどまらず、自然環境保全、水源かん養、防災、良好な景観の形成等の多面的機能を有している。

市は、こうした農地の利活用を促進し、農地を次世代に引き継ぐため、地域主体の農地利活用支援事業や日本型直接支払制度といった地域の共助の取組に対する支援に取り組み、一定の成果をあげているところであるが、農家の高齢化等により農地の維持・管理が依然として困難であり、集落活動が衰退している。こうしたことから、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化することを目的に、地域計画の策定に取り組むとともに、活用すべき農地の利活用の取組を行う地域への支援について、より一層の充実を図っていく必要があるとしています。

3番目の意見事項は有害鳥獣対策の強化についてです。深刻化している鳥獣被害の軽減のため、有害鳥獣対策の強化を図ることを掲げています。内容は、市は、防除、駆除、環境整備の3手法で有害鳥獣対策に取り組んでいるが、依然として、農作物の鳥獣被害は深刻であり、様々な対策を強化していく必要がある。とりわけ、生息頭数が増加しているシカの捕獲の強化は急務であり、思い切った対策を講ずる必要がある。また、有害鳥獣駆除捕獲物処理モデル事業

については、今年度、東区、安佐北区及び安芸区で実施し、駆除従事者の負担軽減の効果を挙げており、早期に全市で本格的に実施する必要があるとしています。以上で令和7年度広島市農政に関する意見書についての説明を終わります。

議 長

ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等は、ございますか。

(委員：意見なし)

議 長

それでは、令和7年度広島市農政に関する意見書の案については、この内容としてよろしいでしょうか。

(委員：異議なし)

議 長

なお、この意見書の最終決定については、来月10月総会で上程することになっていきますので、よろしくお願ひします。市長への意見書提出の日程等について、事務局から説明をお願いします。

事務局（小林主任技師）

令和7年度広島市農政に関する意見書提出・要請の日程等について説明します。4ページをご覧ください。まず市長への意見書の提出ですが、令和6年11月20日水曜日、時間は10時から10時30分で、場所は、例年どおり本庁舎10階の市長公室です。農業委員会の出席者ですが、会長、会長職務代理者、各地区協議会の代表者です。各地区協議会からの出席者については、後ほど説明いたします。次に議長への要請ですが、同じく令和6年11月20日水曜日、時間は11時から11時30分で、場所は議事堂3階の議会公室です。農業委員会の出席者ですが、市長への意見書の提出と同じメンバーです。次に各地区協議会からの出席者について説明します。地区協議会からの出席者は、昨年まで協議会長と副協議会長が交互に出席されています。今年も同様に、引き続き協議会長と副協議会長が交互に出席していただき、来年の出席者については各地区協議会で協議することとしています。今年、旧市地区は鍛冶山協議会長、安佐南区は川崎副協議会長、白木・高陽地区は佐藤協議会長、可部・安佐地区は沖田副協議会長、安芸区は山縣協議会長、佐伯区は小林副協議会長

をお願いしたいと思います。また、当日のスケジュール等については、市及び議会と調整の上、決まり次第、出席者の方にお伝えしたいと思います。

議 長

以上で、農政に係る審議事項を終了します。

続きまして、議事日程6のその他事項に入ります。議案第7号、広島市農業委員会農地利用最適化推進委員の委嘱の承認について上程します。事務局から説明をお願いします。

事務局（平木主幹）

議案第7号、広島市農業委員会農地利用最適化推進委員の委嘱の承認について説明します。令和6年5月8日開催の令和6年第5回総会において、〇〇推進委員の辞任について同意することが承認され、その後、6月17日から7月19日の約1か月間、欠員募集を行いました。それでは、お手元にお配りしています別紙、議案第7号をご覧ください。候補者の詳細については、2ページをご覧ください。農地利用最適化推進委員の申込状況についてですが、第5地区の欠員募集人数1人に対し、1人の申込がありました。8月20日に広島市農地利用最適化推進委員の選考手続等に関する要綱に基づく選考委員会による面接を実施し、農地利用最適化推進委員の候補者として尾澤春生さんを選考したものです。また、第8地区についても、第5地区と同時に6月17日から7月19日の約1か月間、欠員募集を行いましたが、申込がありませんでした。以上で、議案第7号の説明を終わります。

議 長

ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等は、ございますか。

（委員：意見なし）

議 長

意見がないようですので、尾澤春生氏に農地利用最適化推進委員を委嘱することを承認してよいでしょうか。

（委員：異議なし）

議 長

異議がないので、そのように決定いたします。

続きまして、8月26日に行われました家族経営協定調印式について、出席した委員から報告をお願いします。吉田委員をお願いします。

吉田委員

資料2、5ページをご覧ください。8月26日14時からJA広島市砂谷支店で家族経営協定調印式が行われました。式次第は、5ページに書いてあるとおりで、次の6ページに協定を締結した方の氏名や出席された関係者、立会人の氏名が載っております。今回は酪農家の4人が協定を締結されました。それで、私その協定の締結に当たって激励の言葉を述べたので、簡単に読み上げてみます。現在の経営者は大学卒業後、北海道の農場で修業し、酪農経営について学び4代目として、酪農業を承継していることにエールを送りました。しかし、農業経営は1人ではできないこと、家族が協力し合って、それぞれを補うことで、達成できるものであり、それに向かって邁進されることを切に願っています。また、これからも惜しみない支援と協力する旨を申し添え、激励の言葉を述べてきました。以上で、家族経営協定調印式の報告を終わります。

議 長

吉田委員、ご報告ありがとうございます。それでは、引き続き事務局より報告をお願いします。

事務局（小林主任技師）

令和7年度農業担い手育成研修生の募集について説明します。

農林水産振興センターから、令和7年度農業担い手育成研修生の募集について、パンフレットの配布及び周知への協力依頼がありましたので紹介します。まず、ひろしま活力農業”経営者育成研修の令和7年度研修生募集パンフレットをご覧ください。この研修では、主にコマツナなどの施設葉物野菜を生産する“ひろしま活力農業”経営者を育成します。募集期間は、9月1日日曜日から11月29日金曜日までとなっています。次に、令和7年度農業研修生募集のパンフレットをご覧ください。この研修は、直売向け多品目野菜の栽培技術などを習得するもので、就農できる農地がある者、新たに農地を借りて就農を目指す者のいずれも受講が可能です。募集期間は、9月1日日曜日から11月29日金曜日までとなっています。新規就農や農業研修の受講に関心のある方が近くにいらっしゃいましたら、ご紹介いただきますようお願いいたします。

事務局（山根主査）

令和6年度第3回地区協議会について、7ページの資料3をご覧ください。すでに実施済みの地区もございますが、下の表のとおり、各地区開催いたします。今後開催される地区におかれましては日程等確認をお願いいたします。

続きまして、令和6年9月の現地調査日程について説明いたします。8ページの資料4をご覧ください。今月の受付締切日は13日の金曜日です。17日火曜日の午前には旧市、午後には安芸区、18日水曜日の午前には安佐北区の可部・安佐地区、午後には白木・高陽地区、19日木曜日の午前には安佐南区、午後には佐伯区を予定しています。許可申請の状況により、開始時間の調整をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

続きまして、令和6年農業委員会の概要について説明いたします。令和5年度の実績などを基に内容を改定しました。お手元にお配りしておりますので、今後の業務の参考にしていただければと思います。なお、農地利用最適化推進委員には地区協議会などで配付予定です。その他、庁内の関係部署、広島県就農支援課、広島県農業会議にも配付する予定です。

続きまして、みどりの募金についてです。毎年、農業委員会は、緑の募金に協力しております。本年度も引き続き、親和会で1人当たり千円の募金をまとめて行います。募金資材は、カープとサンフレッチェとのコラボグッズのピンバッチで、本日、皆様にお配りしております。以上で説明を終わります。

議 長

ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等は、ございますか。

（委員：意見なし）

議 長

これで令和6年第9回総会を終了します。

次回の総会は、令和6年10月7日月曜日午後1時30分から、東区役所3階第4・5会議室で行う予定です。

それでは、己斐会長職務代理者に閉会のあいさつをお願いいたします。

己斐会長職務代理者

本日は大変お疲れ様でございました。